

小児甲状腺がん 200 人のおかげで何が起きているのか 子どもの甲状腺がん「県民健康調査」

福島原発事故から早7年半が経ちました。原発事故による健康影響を懸念して始められた福島県の「県民健康調査」はかつて、監督を行う「検討委員会」で開かれていた「秘密会」の存在が暴かれ、大きな批判の的となりました。その責任を取り、山下俊一長崎大学副学長は座長を退任し、表舞台からは姿を消しましたが、今も、検査を請け負っている福島医大では大きな役割を果たしています。

200人以上の小児甲状腺がんが見つかる中、山下氏や他の専門家はいったい何を狙っているのか。今、検査の目的を蔑ろにする、新たな疑念が浮上しています。今回は、「県民健康調査」について徹底した取材をしてきた白石草さんに、詳細にご講演いただきます。

当日は、福島地裁で係属中の「子ども脱被ばく裁判」や市民立法「チェルノブイリ日本版」について、柳原敏夫弁護士からもご報告いただきます。みなさま、お見逃しなくご参集ください。

10月20日(土) 13時~17時(開場12時30分)

会場：スペースたんぽぽ*

資料代：800円

(学生400円、避難者の方は無料です)

お問合せ：nijisaiban@gmail.com

090-8494-3856

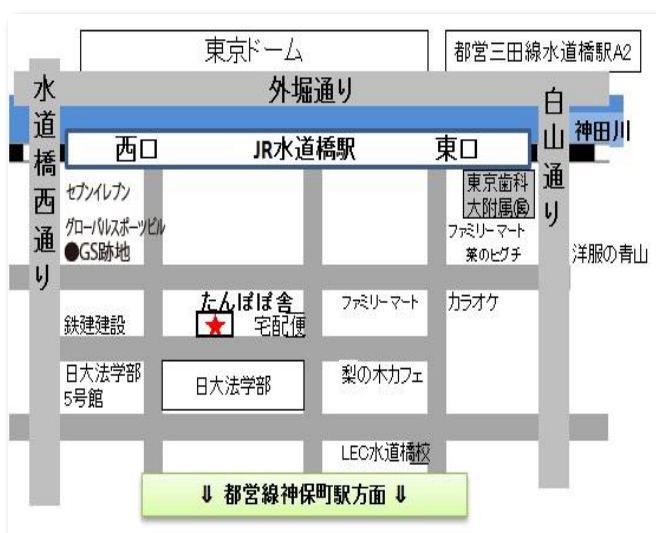
(脱被ばく実現ネット岡田)

共催：たんぽぽ舎・脱被ばく実現ネット

*千代田区神田三崎町2-6-2ダイナミックビル4階)
JR水道橋駅西口から5分：水道橋西通りを神保町方面に向けて左折し、グローバルスポーツビル、GS跡地を過ぎて鉄建建設本社ビルを過ぎたら左折。

(TEL 03-3238-9035 FAX 03-3238-0797)

(Email: nonukes@tanpoposya.net URL: <http://www.tanpoposya.com/>)



講師：白石草(しらいしはじめ)さん

2001年に非営利のインターネット放送局 Our Planet-TVを設立。2005年NPO法人となる。2012年に、日本女性放送者懇談会の「放送ウーマン賞」日本ジャーナリスト会議の「JCJ賞」を受賞。ドキュメンタリー『東電テレビ会議49時間の記録』で2014年、日本科学技術ジャーナリスト会議の「科学ジャーナリスト大賞」を受賞した。著書に『ルポチェルノブイリ28年目の子どもたち ウクライナの取り組みに学ぶ』岩波書店、『3.11後の子どもと健康 保健室と地域に何ができるか』(共著、岩波ブックレット)ほか。

